

2020年度



さくらんぼ園だより

3月号

社会福祉法人 舞鶴市社会福祉協議会

舞鶴こども発達支援施設「さくらんぼ園」(Tel.64-5798・FAX62-9171)

子どもたちがよくがんばった1年間でした。

さくらんぼ園の梅のつぼみがふくらみ始めました。もう春です。

今年の冬は、まとまった雪が何度も降り、久しぶりに冬らしい冬だったなあと思えます。雪が降った日の朝、重たい雪で「くの字」のように曲がった竹を通勤途中によく見ました。しかし、雪がなくなると、それらの竹は多少曲がってはいるものの、元のように背を伸ばそうとしていました。竹には(全てのものには)、一つの方向から力が加わったとき、元に戻ろうとする性質…「弾性」があるからです。特に、竹には節があります。節があるから、竹はしなむことができ、ちょっとした重みでは折れないようにできているのです。



さて、本年度の療育も、最終月となりました。この1年は、新型コロナウイルスのことが、頭から離れることのない1年でした。私個人を振り返ってみても、例えば、建物に入るとき、取っ手のどこを持った方がいいのかと一瞬考えたり、レジに何人か人が並んでいたら、空くまでちょっと待ったりすることがありました。普通ならどうでもいいことなので、そうしている自分が滑稽に思えることがありました。保護者の皆様も、これまで当たり前にしてきたことに様々な「制約」が加わり、不便さを感じながら生活しておられるのではないかと思います。

子どもたちは、さくらんぼ園に登園し、遊びの楽しさを味わいます。新型コロナウイルスの状況下にあっても、それはかわりません。「うごきづくりのへや」では、トランポリンやクライミング、ハンモックなどを使い、全身を使って遊びます。体を動かす楽しさを味わいながら、体を作っていきます。「みんなのへや」では、友達と一緒に遊ぶこともします。例えば、カルタです。ルールを守り、友達と競います。カルタが取れると嬉しいし、友達が取れば、ちょっと残念な気持ちになります。取れるときも取れないときもあります。それでも、友達がいるから楽しい。友達と一緒に遊ぶ楽しさを、先生たちの支援を受けながら味わっています。「べんきょうのへや」では、先生と向き合って、ハサミを使った遊びをしたり、ことばや数に関する遊びをしたりします。ここでは、できるようになる喜びを味わいます。

さくらんぼ園で行っている遊びには、それぞれに意味(ねらい)があり、遊びを通して、子どもたちは生きていく力を育んでいます。この1年で、体の使い方や物を操作する技能、言葉や数の理解、友達とのかかわり方など、確かに成長していることを感じます。よくがんばった子どもたちに、拍手を送りたい気持ちになります。

さて、年長の37名の子どもたちが、3月17日、さくらんぼ園を卒園します。卒園は、一つの「節」です。子どもたちは、さくらんぼ園での療育を通し、簡単にはへこたれない、竹のような力を育ててくれたことと思います。4月、桜の花に迎えられ、わくわくした気持ちで学校に入学してほしいです。そして、楽しい学校生活を送ってくれることを、職員一同、心から願っています。

後になりましたが、保護者の皆様、関係機関の皆様には、この1年間、何かとご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。お礼申しあげます。来年度も、よろしくお願い申しあげます。

園長 小谷 和弥
職員 一同

3月 療育表



月	火	水	木	金
1 午前療育 午後療育	2 午前療育 午後療育	3 午前療育 午後療育	4 午前療育 午後療育	5 午前療育 午後療育
8 午前療育 午後療育	9 午前療育 午後療育	10 午前療育 午後療育	11 午前療育 午後療育	12 午前療育 午後療育
15 午前療育 午後療育	16 午前療育 卒園式準備	17 卒園式	18 午前療育	19 午前療育
22 午前療育 午後療育	23 午前療育 午後療育	24 午前療育	25 午前療育	26

児童発達支援に係る保護者評価の公表について

保護者の皆様にご協力いただいた児童発達支援に係る評価の結果は、さくらんぼ園のホームページに掲載します。ご覧ください。

令和3年度の療育について

新年度は、4月12日（月）から開始します。療育の曜日については、3月中にお伝えします。



さくらんぼ園を卒園される年長児のご家族の皆さま、長い間、療育の送迎ありがとうございました。4月から、お子様は学校に入学されることとなりますが、相談したいことや心配なことなどがありましたら、遠慮なく、いつでもさくらんぼ園にご連絡ください。

スタッフ一同、これからも子どもたちの健やかな成長を願っています。

